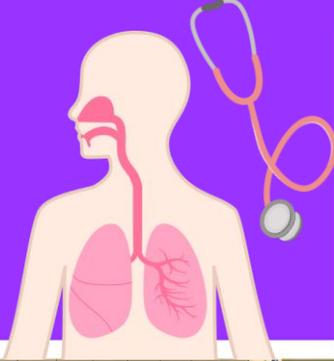


フィジカルアセスメント研修!



モニター画面ではなく、
患者さんを視る! こと。
患者さんの異常に気付くためには、
普段からフィジカルアセスメント
することが大事と学びました。

フィジカルアセスメントの目的は
「患者さんの状態に適切な看護ケアの明確化・
実施した看護ケアの評価」であること、そして
フィジカルイグザミネーションは患者さんに
起っている現象を客観的に収集する診査であり、
問診、視診、聴診、打診、触診の重要性について
理解しました。

坂口特定看護師より

重症心身障害児(者)病棟には気管切開や人工呼吸器管理を行っている患者が多くなります。そのため、呼吸に関するフィジカルイグザミネーションを研修生同士で実際に行いました。気管カニューレ挿入中の看護について基本的な知識を学び、異常時・緊急時の対応として気管カニューレが事故抜去された時の対応についてモデル人形を用いて1人ひとり実践してもらいました。事故抜去発見時は慌てず、まず人を集めること、患者に必要なのは気管カニューレではなく酸素であることを学びました。新しい知識や技術を習得しようと真剣な姿勢で研修に取り組んでおり、確認テストも全員100でした。



(引用・参考文献)
本当に大切なことが1冊でわかる呼吸器
カンゴール呼吸器のフィジカルアセスメント
<https://www.kango-roo.com/learning/8191/>
今さら聞けない看護師技術byナースハッピーライフ
<https://www.nurse-happylife.com/21479/#i-6>
ナース専科:呼吸器アセスメントー触診・打診の部位、聴取の
<https://knowledge.nurse-senka.jp/205819/>